

令和 5 年度

予算説明書



Dream Sight MORIYA

守谷市

〔教育委員会 生涯学習課 所管〕

03020111 児童クラブ運営事業

予算書P. 115

(単位:千円)

	新年度	前年度	差	主な名称
事業費	318,823	307,153	11,670	
国庫支出金	46,655	42,905	3,750	子ども・子育て支援交付金(放課後児童健全育成事業)
県支出金	46,655	36,965	9,690	子ども・子育て支援交付金(放課後児童健全育成事業)
地方債	0	0	0	
その他	43,288	44,352	△ 1,064	児童クラブ入所負担金
一般財源	182,225	182,931	△ 706	

【背景(なぜ始めたのか)】

共働き家庭が増加する中、就労支援対策として、平成4年9月仲町（現守谷小学校）児童クラブの開設をスタートに、平成5年に北守谷（現御所ヶ丘小学校）児童クラブ、平成7年に南守谷（現松ヶ丘小学校）児童クラブを開設し、平成8年度から平成12年度までの間に全小学校に児童クラブを開設した。

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

放課後帰宅しても、就労などにより保護者が日中家庭にいない小学生を対象に、児童の安心安全な居場所を確保し、保護者の就労を支援するとともに、児童の健全育成を図る。

【内容(何の業務活動をどのような手法で行うか)】

公設クラブは、運営業務を民間事業者に委託し、平日の授業終了後から午後7時まで、また、土曜日、長期休業期間（春休み、夏休み、冬休み）及び学校振替休業日は午前7時30分から小学校ごとに整備した専用室において運営している。引き続き、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策として、31クラブの常設施設に加えて、学校の特別教室を借用するなど、1クラブ室当たりの人数を減らして運営する。

民設クラブは、休日の預かりや学習塾機能の提供など事業者の特徴を生かした付加価値の高いサービス提供を図るとともに、児童数増に対応するため、令和6年度に新たなクラブ開設に向けて必要な準備を進める。

・ 公設児童クラブ

〔運営業務委託〕 株式会社アンフィニ

〔委託期間〕 令和2年4月1日～令和7年3月31日 5年間

・ 民設児童クラブ

〔運営補助対象〕 株式会社ウェルビー

〔補助期間〕 令和5年4月1日～令和6年3月31日 単年



室内遊び・様々な体験活動の様子

	新年度	前年度	差	主な名称
事業費	4,275	4,275	0	
国庫支出金	0	0	0	
県支出金	0	0	0	
地方債	0	0	0	
その他	0	0	0	
一般財源	4,275	4,275	0	

【背景(なぜ始めたのか)】

地域活性化を目的に、県事業の「国際芸術文化交流拠点整備構想（アーカス構想）」を誘致し、平成6年度の試行を経て、平成7年度から「アーカス構想パイロット事業」、平成12年度から現在の「アースプロジェクト」がスタートした。

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

県主催のアーカスプロジェクトに参画することにより、市民に芸術文化活動の体験機会を提供するとともに、地域の文化活動の推進と市のイメージアップを図る。

【内容(何の業務活動をどのような手法で行うか)】

市は負担金を支出し、もりや学びの里の施設を提供して、県、市、関係機関からなる実行委員会(事務局:県)によるアーカスプロジェクトの運営により、アーティストの招へい及び制作支援、活動発表会(レジデンスプログラム)や、一般向け、子ども向けアートイベント(地域プログラム)を開催する。

また、市内イベント活動等の運営や事業広報活動を支援する。



招へいアーティスト選考審査会の様子



滞在制作時市長スタジオ訪問

	新年度	前年度	差	主な名称
事業費	66,762	3,928	62,834	
国庫支出金	0	0	0	
県支出金	2,975	0	2,975	部活動指導員配置事業費補助金
地方債	0	0	0	
その他	55,717	0	55,717	ふるさとづくり基金繰入金
一般財源	8,070	3,928	4,142	

【背景(なぜ始めたのか)】

社会が複雑・多様化し、子どもたちを取り巻く環境が大きく変化する中で、学校が抱える課題も複雑化・多様化している。また、地域においては、地域社会のつながりが希薄化するなど、学校・家庭・地域がパートナーとして連携・協働する仕組みが不可欠となった。

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

未来を担う子どもたちの豊かな学びを支えていくため、学校・家庭・地域が連携し、三者それぞれが持つ教育機能を発揮するとともに、互いに連携・協力しながら、各地域が持っている特色を十分に生かし、地域全体で子どもたちの健やかな成長を支援する。

【内容(何の業務活動をどのような手法で行うか)】

小中学校とまちづくり協議会等が連携し、豊富な地域人材により子どもたちの学びを支えることを目的に設置した「もりやコミュニティ・スクールボランティアバンク」による人材発掘・人材活用を図り、引き続きシニア世代をはじめ、あらゆる世代の地域人材が学びの成果や技術、経験を発揮し、活躍できる場の提供に努める。

また、中学校区ごとに地域学校協働本部の整備を促進し、モデル事業（御所ヶ丘中学校区）により地域住民等と学校をつなぐコーディネート機能、多様な活動の提供等について検証する。

教職員の働き方改革の推進と、子どもたちが将来にわたり継続してスポーツ・文化活動に親しむことができる環境を整備するため、中学校部活動の段階的な地域移行に取り組む。

家庭教育においては、市内保育所（園）、幼稚園、小中学校保護者等を対象に、家庭が本来果たすべき役割を見つめ直す機会となるよう、親の役割、子どもの心の理解など家庭での教育について考えを深めていく学習の場を提供するとともに、保護者同士の交流を通して互いに支え合う関係づくりを目指す。



スクールボランティア活動の様子(左:ミシン指導 右:持久走大会補助)

10040107 芸術文化振興事業

予算書P. 221

(単位:千円)

	新年度	前年度	差	主な名称
事業費	1,856	2,532	△ 676	
国庫支出金	0	0	0	
県支出金	0	0	0	
地方債	0	0	0	
その他	0	0	0	
一般財源	1,856	2,532	△ 676	

【背景(なぜ始めたのか)】

市民が行う芸術文化活動の自主性・創造性を尊重し、その活動を促進するとともに、相互の連携・協力の機会提供を通して、担い手の育成及び市における総合的な芸術文化振興の推進を目指して開始した。

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

市民やサークル・団体等に芸術文化活動の発表の機会を提供するとともに、昭和52年に設立された「市文化協会」に対する補助事業を通して、市民が身近に芸術文化に触れることができる環境の充実を図る。

【内容(何の業務活動をどのような手法で行うか)】

中央公民館ホールをはじめ、市内公共施設を活用し、市民が音楽・芸能に触れる活動を推進する。

1 守谷市芸術祭

11月に中央公民館を主会場に、市文化協会との共催による美術展、生花展、若い芽のコンサート、ふれあい茶会、芸能祭を開催する。

2 守谷市美術作家展

市民交流プラザギャラリーを会場に、市内で活動し、多くの美術展で入賞・入選されている美術作家の展覧会を開催し、芸術鑑賞の機会を提供する。

3 市文化協会の活動支援

芸術文化活動を通して、市の発展と市民の文化交流に努める市文化協会の活動を支援する。

※ 守谷市芸術祭のほか、講座・教室、コンサート等開催予定。団体数：74団体、会員数：約460名



守谷市美術作家展



芸術祭美術展

10040117 スポーツ・文化振興奨励事業

予算書P. 223

(単位：千円)

	新年度	前年度	差	主な名称
事業費	2,795	2,670	125	
国庫支出金	0	0	0	
県支出金	0	0	0	
地方債	0	0	0	
その他	0	0	0	
一般財源	2,795	2,670	125	

【背景(なぜ始めたのか)】

スポーツ・文化に親しみ、県代表として全国大会等に出場する市民を奨励し、出場に係る経費の負担軽減を図るため、平成14年度に奨励金交付制度を設けた。

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

スポーツ及び文化の振興を図り、市民の健康づくりと文化意識の高揚に寄与する。

【内容(何の業務活動をどのような手法で行うか)】

「守谷市スポーツ・文化振興奨励金交付要綱」に基づき、スポーツ又は文化で全国大会出場の功績をあげた個人又は団体に対して記念品と奨励金を交付し、栄誉を讃える。

[交付対象]要綱で規定する全国大会、アジア選手権大会、世界選手権大会、オリンピック・パラリンピック等文部科学省等が主催又は後援する全国規模以上のコンクール、国際コンクール等



記念品(オリジナルメダル)

	新年度	前年度	差	主な名称
事業費	4,877	3,146	1,731	
国庫支出金	0	0	0	
県支出金	0	0	0	
地方債	0	0	0	
その他	0	0	0	
一般財源	4,877	3,146	1,731	

【背景(なぜ始めたのか)】

民法の一部を改正する法律により、令和4年4月1日から民法で定める成年年齢が18歳に引き下げられることに伴い、守谷市は、社会教育委員の会議から提言書が提出され、教育委員会の承認を経て従来通り20歳を対象に式典を開催することになった。

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

20歳の節目を祝福し、大人としての義務と責任を改めて自覚してもらうとともに、20歳同士の交流を深め、郷土を誇りに思う心を育む。

【内容(何の業務活動をどのような手法で行うか)】

対象者による運営協力委員会を組織し、式典の運営や準備を市と協働で進める。

会場設営業務及び駐車場整理業務を委託する。コロナ禍における開催の対応として、式典の様子をL I V E配信により保護者等に提供する。

[開催日等] 令和6年1月7日(日)(予定)

[対象者] 平成15年4月2日～平成16年4月1日生まれの方

※参考：令和5年成人式典 対象者数736人、内出席者数516人(出席率70.1%)

[内容] 成人式典、運営協力員主催イベント(予定)



はたちの主張



式典時受付の様子

	新年度	前年度	差	主な名称
事業費	36,978	36,908	70	
国庫支出金	0	0	0	
県支出金	14,539	14,539	0	放課後子供教室推進事業費補助金
地方債	0	0	0	
その他	6,920	6,921	△1	放課後子ども教室事業保護者負担金
一般財源	15,519	15,448	71	

【背景(なぜ始めたのか)】

子ども達に関わる重大事件の発生など、青少年の問題行動の深刻化や地域や家庭の教育力の低下等の課題に対応し、心豊かでたくましい子どもを社会全体で育むため、地域の方々の協力を得て、平成19年度から学校等を活用するなど計画的に子ども達が安心して活動できる居場所を提供している。

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

子ども達の安心・安全な活動拠点（居場所）を設け、学習活動やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等の取組を実施することにより、子ども達の社会性、自主性、創造性等の豊かな人間性を育むとともに、地域コミュニティの充実を図る。

【内容(何の業務活動をどのような手法で行うか)】

放課後子ども総合プランとして、小学校の校庭・体育館・特別教室等を活用して、遊び、スポーツ・文化等の活動が体験できる場を提供する。

運營業務を民間事業者へ委託し、児童クラブと一体型の運営を行い、プランマネージャーを中心に、地域ボランティアを活用して、放課後児童支援員と連携した活動を行う。

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、4月当初からの実施を延期し、今後の感染状況や活動場所等を踏まえて、実行委員会で参加人数や活動時間等の実施方法を検討し、開催時期を決定する。

〔運營業務委託〕株式会社アンフィニ

〔委託期間〕令和2年4月1日～令和7年3月31日 5年間

10040202 文化財保護事業

予算書P. 226

(単位：千円)

	新年度	前年度	差	主な名称
事業費	7,969	1,363	6,606	
国庫支出金	0	0	0	
県支出金	0	0	0	
地方債	0	0	0	
その他	4,816	0	4,816	ふるさとづくり基金繰入金
一般財源	3,153	1,363	1,790	

【背景(なぜ始めたのか)】

文化財保護法第190条に基づき、昭和52年に守谷市文化財保護条例を制定し、先人からの優れた遺産である文化財を適切に保護・活用し、未来に伝えていくこととした。

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

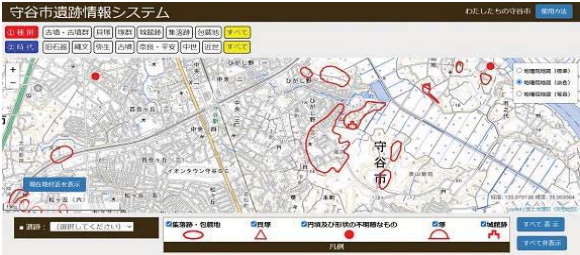
市内に存する有形無形の文化財を保護し、未来に伝えていくとともに、文化財愛護や郷土理解の心を育む。

【内容(何の業務活動をどのような手法で行うか)】

文化財保護審議会の答申に基づき、市内の文化財に関する調査・評価を行い、特に価値の高いものについては指定（市、県）や記録保存等の措置を取る。

指定史跡や天然記念物の維持管理を行う。埋蔵文化財の所在が見込まれる土地で土木工事等が行われる場合には、事前に試掘調査を行う。

また、文化財等のデジタル化を進め、いつでも・どこでも文化資源に親しめるようデジタルアーカイブを活用し、歴史・文化資料及び文化財を公開する。



デジタルアーカイブ遺跡情報システム



デジタルアーカイブ文化財マップ

(単位:千円)

	新年度	前年度	差	主な名称
事業費	168,810	147,147	21,663	
国庫支出金	0	0	0	
県支出金	0	0	0	
地方債	0	0	0	
その他	414	18,399	△ 17,985	公民館貸付料
一般財源	168,396	128,748	39,648	

【背景(なぜ始めたのか)】

市民のコミュニケーション及び生涯学習の場を提供するため、昭和56年に中央公民館、平成4年に郷州公民館、平成8年に高野公民館、平成11年に北守谷公民館を開館した。

平成24年度からは指定管理者制度を導入し、民間事業者が有するノウハウを活用した施設の管理運営を開始した。

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

多様化・高度化する市民の学習ニーズに対し、幅広い年齢層に学習機会の提供を行い、利用者が安全で快適に学習活動や趣味活動等ができる場所を提供する。

指定管理者による管理運営により、市民ニーズに効果的、効率的に対応し、民間能力の活用とサービス向上を図る。

【内容(何の業務活動をどのような手法で行うか)】

建築基準法の規定に基づき、建築物の敷地及び構造について、損傷、腐食その他の劣化の状況を調査(3年に1回)を実施する。

指定管理者による施設の管理運営を行うとともに、適正かつ確実なサービスが提供されているか、サービスの安定的・継続的な提供が可能な状態にあるかなどを確認する月次報告に加え、現地調査、管理運営状況の評価等を行うモニタリングを実施し、必要に応じて改善に向けた指導・助言を行う。

令和5年度から稼働する公共施設予約システムの利用を促進し、使用者の利便性向上を図るとともに、愛称「もりりん」をPRし、多くの皆様に愛される施設となるよう更なるサービス向上に努める。

[指定管理者] アクティオ株式会社・守谷市シルバー人材センター共同事業体

[指定期間] 令和2年4月1日～令和7年3月31日 5年間

(単位:千円)

	新年度	前年度	差	主な名称
事業費	193,655	0	193,655	
国庫支出金	0	0	0	
県支出金	0	0	0	
地方債	173,000	0	173,000	郷州公民館改修事業債
その他	20,655	0	20,655	ふるさとづくり基金繰入金
一般財源	0	0	0	

【背景(なぜ始めたのか)】

郷州公民館は平成4年に建築され、地域に充実した生涯学習の場を提供してきたが、築後30年以上が経過し、施設・設備の老朽化により運営に支障を来すことが危惧されるため、令和5年度から改修工事を行う。

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

使用者が安全に安心して使用できるよう施設・設備の改修工事を実施し、快適な学習活動や趣味活動等の場を提供する。

【内容(何の業務活動をどのような手法で行うか)】

公民館個別施設計画に基づく、郷州公民館の大規模改修工事に着手し、施設の長寿命化及び地域のニーズに対応した、安全・安心で持続可能な学習環境を整備する。

令和5年度上半期から着工し、概ね1年間休館を予定している。

〔主な工事(予定)〕電気設備、機械設備、屋上防水、外壁塗装、トイレ改修、内装改修、エレベーター設置



エントランスと外観のイメージ

10040404 北守谷公民館改修事業

予算書P. 229

(単位:千円)

	新年度	前年度	差	主な名称
事業費	21,923	0	21,923	
国庫支出金	0	0	0	
県支出金	0	0	0	
地方債	0	0	0	
その他	21,923	0	21,923	ふるさとづくり基金繰入金
一般財源	0	0	0	

【背景(なぜ始めたのか)】

北守谷公民館は平成11年に建築され、地域に充実した生涯学習の場を提供してきたが、施設・設備の老朽化により運営に支障を来すことが危惧されるため、令和4年度に劣化度調査を行った結果に基づき、令和5年度に実施設計を行い、令和6年度から改修工事を行う。

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

使用者が安全に安心して使用できるよう施設・設備の改修工事を実施し、快適な学習活動や趣味活動等の場を提供する。

【内容(何の業務活動をどのような手法で行うか)】

北守谷公民館の老朽化により、令和4年度に行った劣化度調査の結果に基づいた全面改修工事を行うため、令和6年度下半期からの改修に向けて実施設計を行う。

10050104 市スポーツ協会補助事業

予算書P. 236

(単位:千円)

	新年度	前年度	差	主な名称
事業費	18,800	7,300	11,500	
国庫支出金	0	0	0	
県支出金	0	0	0	
地方債	0	0	0	
その他	0	0	0	
一般財源	18,800	7,300	11,500	

【背景(なぜ始めたのか)】

市民がスポーツに親しむことができ、技術の向上、健康増進と地域の親睦・融和を図るための組織として、昭和43年に設立された「守谷市体育協会」に対する補助事業として開始した。

※令和3年4月「一般社団法人守谷市スポーツ協会」に組織変更

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

市民の健康増進と体力向上のため、各種運動競技の普及発展と競技力向上を目的に活動するスポーツ協会の自主的な事業を支援し、市民交流とスポーツ活動の推進を図る。

また、市が主催するスポーツ大会やイベント等の業務委託、事業協力など体制強化を図る。

【内容(何の業務活動をどのような手法で行うか)】

令和3年4月からの法人化に伴い、組織体制及び事業実施体制の整備のため、引き続き、市から事務局職員を派遣する。

協会が雇用する事務局職員と連携・協力を図り、収益事業による安定した自主財源の確保や運営基盤の強化を目指し、協会の自立を促進する。

また、補助金を交付し、スポーツ協会が主催する各種スポーツ大会、技術講習会等の活動を助成し、市民がスポーツ活動に参加することにより体力の向上及び健康増進を図るとともに、スポーツ協会及び加盟団体の組織強化を支援する。

〔加盟団体数〕23団体（令和5年1月現在）

〔事務局職員体制〕事務局長1名、職員3名（令和5年4月～）

10050105 市スポーツ少年団補助事業

予算書P. 236

（単位：千円）

	新年度	前年度	差	主な名称
事業費	2,587	2,440	147	
国庫支出金	0	0	0	
県支出金	0	0	0	
地方債	0	0	0	
その他	0	0	0	
一般財源	2,587	2,440	147	

【背景(なぜ始めたのか)】

青少年の健全育成と少年期におけるスポーツの楽しさを教えるため、昭和57年に設立された「守谷市スポーツ少年団本部」に対する補助事業として開始した。

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

各種競技の普及・発展、競技力向上と各少年団間の交流を目的に活動するスポーツ少年団本部の自主的な事業を支援し、青少年健全育成と児童の体力向上に寄与する。

【内容(何の業務活動をどのような手法で行うか)】

補助金を交付し、スポーツ少年団が部会単位で開催する、各種スポーツ大会、技術講習会等の運営費を助成する。また、守谷市の代表として出場する全国大会等の遠征費を助成する。

市内及び近隣自治体スポーツ少年団との交流会を実施することで、単位団相互の交流を深め、親睦を図るとともに、子どもたちの体力、精神面の健全な発達と集団の中での協調性を養う。

〔市内スポーツ少年団数〕21団体（令和5年1月現在）



スポーツ少年団活動の様子

10050107 スポーツによる地域活性化推進事業

予算書P. 236

(単位: 千円)

	新年度	前年度	差	主な名称
事業費	4,773	4,813	△ 40	
国庫支出金	0	0	0	
県支出金	0	0	0	
地方債	0	0	0	
その他	50	2,185	△ 2,135	各種スポーツ事業参加費
一般財源	4,723	2,628	2,095	

【背景(なぜ始めたのか)】

国(スポーツ庁)が推進するスポーツによる地域活性化施策と連携し、市民生活の質の向上や健康増進、さらに、地域の特色を活用した交流の創出を狙う取組を充実させることを目指して開始した。

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

市民のスポーツ・運動習慣定着化の促進及び個々の適性やライフステージに応じたスポーツの機会提供を行うとともに、市スポーツ協会や近隣自治体等との連携により、スポーツ推進体制の強化を図り、スポーツによる地域活性化に持続的に取り組む。

【内容(何の業務活動をどのような手法で行うか)】

1 各種スポーツ大会

市スポーツ協会への委託により、軟式野球大会、バドミントン大会、バレーボール大会、バスケットボール大会、ソフトテニス大会、テニス大会、ソフトボール大会、グラウンドゴルフ大会、卓球大会を開催する。また、市スポーツ協会との共催により、チャリティゴルフ大会、守谷リレーマラソンを開催する。

2019年茨城国体を記念し、常総市・坂東市と共催で、茨城県中学校ハンドボール大会を開催する。

2 スポーツ教室・交流体験

誰もが気軽にスポーツを楽しむ機会を提供する取組として、市の歴史・文化財等ゆかりの地をチェックポイントに設定したオリエンテーリング(ナビゲーションゲーム)を企画・実施する。

パラリンピック正式種目(ボッチャ・ブラインドサッカー等)の魅力を体験できる機会を提供する。また、子どもの体力、コミュニケーション能力を育むため、児童向け遊びプログラムを実施する。

3 広域連携による地域活性化

県南西地区自治体によるスポーツを核としたまちづくりに向けた取組を継続する。



市民卓球大会



ボッチャ体験教室



国体記念中学校ハンドボール大会

	新年度	前年度	差	主な名称
事業費	3,500	3,000	500	
国庫支出金	0	0	0	
県支出金	0	0	0	
地方債	0	0	0	
その他	0	0	0	
一般財源	3,500	3,000	500	

【背景(なぜ始めたのか)】

マラソンを通じて市民相互の交流と、市の知名度向上を図るため、昭和59年から実施している大会に対する補助事業として開始した。

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

「守谷ハーフマラソン」への参加により、幅広い年齢層の人々に健康増進をもたらすとともに、全国からの参加者に守谷市の素晴らしさをPRする。

また、大会運営に多くのボランティアが参加しており、市民相互の交流を深める機会になっている。

【内容(何の業務活動をどのような手法で行うか)】

大会は守谷市スポーツ協会が主催し、市からの補助金のほか、参加費及び企業協賛等により実施している。毎年2月に開催しており、ハーフマラソン・5kmの男女年代別の種目を設定し健脚を競い合う。

ハーフマラソンは、日本陸上競技連盟公認コースで茨城陸上競技協会の公認大会となっている。

新型コロナウイルス感染症の状況を見据えながら、安全・安心な大会運営を目指す。

運営係員は約800名で、スポーツ協会会員、スポーツサポーターなど多くの市民ボランティアの協力を得ている。



守谷ハーフマラソンスタート地点